

## 自然保護全国大会を終えて

第36回日山協自然保護委員総会北海道大会が24年9月8～9日 84名参加で美瑛町ゆーすぴあ大雪で行われ無事終了致しました。

1日目 受付後、自然保護委員長会議が12時半より始まりました。  
総会は13時半より、日本山岳協会会長神崎 忠男、北海道山岳連盟会長小野 倫夫の挨拶に続き、議長に日本山岳協会自然保護副委員長徳永 邦光が選出され、参加の自然保護委員長より各団体の取組、現状等について報告されました。  
総会終了後、視察巡検(十勝岳火山防災センターを視察)十勝連峰の雄姿を間近に!!  
夕食をはさみ交換会・懇親会を行い1日目終了



2日目 昨日とうって変って雨予報。3コースに分かれ登山開始



● 十勝岳コース

39名参加

6時35分登山開始

7時40分避難小屋手前で  
風雨が強くなり登頂断念

1180m付近

8時25分望岳台に下山

★ 感想

残念、もう少し登りたか  
った。

雄大さを感じたかった



● 富良野岳コース

17名参加

7時00分登山開始

8時04分上ホロ分岐で風雨  
強くなり登頂断念

9時05分十勝岳温泉Pに

下山

★ 感想

下山時、安政火口から雨水  
が溢れ、石を投げいれて  
渡渉した。普段は水流はない  
水は怖い、もう一度来たい。



● 泥流コース

10名参加

8時過ぎ望岳台を出発

すでに雨が降っている。

歩くにつれ風雨強くなり

分岐までの予定を変更し

登り出し500mで行動停止

9時前下山

★ 感想

エゾオヤマノリンドウが  
あり、もう少し散策したか  
った。

9時30分前ゆーすぴあ大雪に全員帰着。その後、参加者は10時20分のバスに乗り解散となった。1日目は快晴で空港出迎えのバスからの景色を皆様堪能された。2日目は残念な登山となりました

# 平成24年度自然保護委員総会報告

自然保護委員会

9月8～9日の2日間の日程で、題記総会が北海道山岳連盟主管のもと、美瑛・上富良野両町の後援を得て国立大雪青少年交流の家で開催され、18都道府県から84名（各県58名、主管側26名）が参加した。

第一日目は自然保護委員長会議、総会、視察巡検（火山防災と自然保護）、交歓会。第二日目は検証登山（十勝・富良野・泥流検証）が行われた。この2日間を通し、山岳での自然保護活動の現状と今後の取組みにつき意見交換が行われた。

第一日目：

総会に前置きして委員長会議が開催され、本総会議事を円滑に進めることが確認され、委員長間の交流を図って、山岳環境保全活動を更に活性化させていくことを確認した。

主管岳連の太田紘文副会長の開会宣言で開始された総会は、まず主催者側神崎忠男日山協会長より、UIAAやUAAAの国際会議が予

定されているが登山のモラルやマナー、自然保護が議論の中心となる見込み、特にUAAAでは自然保護の面で日本登山界の果たす役割が期待されることになろう。また、来年4月からの公益法人化を機に専門委員会間の連携を促進し活動力強化を考えている。今回の総会はこの状況を頭に入れ有意義な意見交換を期待する旨、石倉昭一自然保護委員長より、急速に増加している中高年ツアー登山者や山ガール・山ボーイ等の未組織登山者を日山協に取り込み、山のマナーやモラルを伝えていきたいこと、さらに来年からの組織替えに伴う体制や事業見直しの一環として、記念年の来年の総会は常任委員会が主管して行いたい旨が提案された。

さらに主管代表小野倫夫会長より、北海道岳連60周年の記念として本総会を開催したことで、昨今の登山人口増加による人間のクマの生息域への侵入や人間の生活を豊かにするために「クマの自然」を人間

が破壊していることにより、市街地へのクマの出没が増えている中、生物多様性の観点から山と森林の現状を把握、自然環境保護の実態を整理、根本から見直そうとの強い思いを、今大会スローガン「山はみんなの宝だ」の『だ』に込めたと挨拶した。

東日本大震災犠牲者への黙祷後議事に入り、まず松隈豊日山協自然保護委員会副委員長より、前回開催（鳥取総会）以降の事業報告（毎月の委員会や研修会等）、山岳団体自然環境連絡会（6団体）が行っている「山の鳥獣目撃レポート」や尾瀬問題に関する環境省への意見書提出、「山はみんなの宝」憲章の検討、環境省の「総合的山岳環境保全対策推進事業に係る検討会」への出席等の活動が報告され、その内容が確認された。さらに自然保護指導員登録ゼロ県の撲滅への協力を呼びかけ、報告を結んだ。

続いて「各都道府県山岳連盟（協会）活動状況について」に進み、あらかじめ提出された資料に基づいて各岳連から報告がなされた。

クリーンハイクや自然観察会を通じて、未組織登山者や次代を担う若い世代向けに山の楽しさ・素晴らしさ、山のマナーや山岳環境保全の啓発を図る活動を中心に、登山道整備や、間伐・下刈り・植林活動を通じた森作り、外来生物の駆除、稀少生物の保護保全活動、水場の水質調査や樹木の立枯れ調査、携帯トイレの普及活動等々、その担い手としての自然保護指導員を増やす取り組みと共に、地域の特性に応じて積極的に繰り広げている山を守る地道で継続的な活動が紹介された。併せて報告された脆弱な活動資金、マンパワー不足等恒常的な問題点を克服しながら得た一定の成果は、同様の悩みを抱える岳連への良い情報となった。議事日程の関係で、多岐に渡る活動の一端にしか触れられなかったこと、更に深い討議の余裕がなかったことが残念であった。

最後に、こうした各岳連の数々の実践を踏まえ、日本の美しい山の自然を未来に継承することを誓い今大会スローガン「山はみんなの宝だ」を採択、次期開催地

について常任委員会一任が議決された。

議事終了後、会場に近い十勝岳火山砂防情報センター周辺を巡検、火山災害の歴史と防災体制の現状を垣間見、今もお伝わる大地の熱い鼓動を体感した。

第二日目：

十勝岳・富良野岳・泥流検証の3コースに分

かれ検証登山に出かけたが、風雨が強くなりいずれも登頂を断念、来年の東京での再会を約束し散会した。

最後に、総会を主管頂いた北海道山岳連盟をはじめ、後援を頂いた関係各位に対し、心より御礼申し上げます。

(常任委員小高令子)



総 会 会 場 に て

注：この記録は筆者の解釈で記したもので、実際の発言を意識して記載しております。

司会・進行：佐藤 健 道岳連自然保護委員長

---

(開会式)

1) 開会宣言：太田 紘文 道岳連副会長

第 36 回社団法人日本山岳協会自然保護委員総会 北海道大会を開催いたします。

2) 主催者代表挨拶：神崎 忠男 日山協会長

全国からお越しになられたことを感謝しています。日本山岳協会は公益社団法人に 2013 年 4 月からなります。7 月末に申請書を提出し、手続きを進めています。2013 年 4 月 1 日から新生日本山岳協会、即ち公益社団法人日本山岳協会が出発します。こうした動きの中で、もっとも重要なことは登山そして自然保護を進めることかと思ひ、自然保護委員の皆様への自覚に期待するところです。

この 10 月 10 日～15 日、アムステルダムで国際山岳連盟が行われます。国際山岳連盟での登山や、日本での登山が一体どのようになっているかを考える好機となっています。国際山岳連盟ではその目標が希薄になったといわれています。その中で重要なことは、登山のモラルやマナーで、それらを向上しなければならぬのではないということです。今年の 1 シーズンで 450 人もの登山者がエベレストに登りました。その内 16 人もが遭難しました。エベレスト登山でもモラルやマナーや自然保護の問題が浮上してきています。おそらくアムステルダムではこれらが中心に話されることになると思います。

また 10 月 17 日～21 日には、韓国でアジア山岳連盟の総会が行われます。2014 年が創立 20 周年ですが 10 周年目に、自然保護委員会、ユース委員会、登山委員会の三つが創設されはしましたが、この 10 年間には目立った活動が行われていません。中国に自然保護委員会をつくってほしいと思っています。ネパール・パキスタン・インドなどヒマラヤを抱く国々では自然保護の活動を独自で行っているようですが、はっきりと目に見える形で伝わってきてはおりません。こうした中、日本の登山界の世界に果たす役割は期待されています。したがって、日本山岳協会の自然保護を国際理解の中に入れてほしいと思っています。

公益法人化を機に、行政に作られた組織ではなく、強い日本山岳協会を作り登山を奨励して参りたいと思います。そして、幾つかある委員会の横のつながりを強化した活動や組織づくりを考えています。手始めに、各委員会の委員長・副委員長で構成する総合委員会会議を招集する予定です。時代とともに日本山岳協会の体質も少しずつ変わってきております。そのあたりを頭に入れ有意義な自然保護委員総会にして頂きたいと思ひます。

どうぞよろしくお願いいたします。

3) 委員長挨拶：石倉 昭一 日山協自然保護委員長

北海道大会が開催されることを感謝しています。昨日は支笏湖の山へ登りました。金曜日なのに車が渋滞していました。平日でも多くの登山者がみられました。私たちは組織でやっているが、未組織の登山者が多いです。ツアー登山も定着しつつあります。未組織の人のマナーを日本山岳協会に取り込めればよいと思ひます。

常任委員の構成、平成 24 年度の活動計画について、体制、事業の見直しをしています。また、来年度は公益法人化という記念の年でもありますし、委員総会のネーミングも含め考えて参りたいと思ひます。この次回総会、中央常任 (1 都 7 県) が主管し、東京大会を開催したいと思ひます。今日の総会で提案したいと思ひます。

昨年から委員長を務めています。よろしくお願いいたします。

4) 主管代表挨拶：小野 倫夫 道岳連会長

こんにちは。今年で北海道山岳連盟は 60 周年を迎えます。北海道は 10 年に一度は全日本登山大会を開催しています。今回はその記念にしました。

北海道はクマがたくさんいます。本州と違って、ケガではすまされない命にかかわる問題なのです。登山人口が少なくなった一時期とはちがって、登山人口が増えてきた影響で、危険があります。札幌市内にも結構な数のクマが出てきています。

自然の聖域を人間がどんどん侵しています。クマの棲家を狭めています。文明社会の中で、ダムをつくり、砂防をつくるのは自然破壊であると思います。しっかり管理ができていないといけないと思います。放置すれば、われわれが山に行けなくなる日がきっと来る。

大会のスローガンである。「山はみんなの宝だ」の「だ」はわれわれの気持ちでつけさせていただきました。分かっていたきたいと思います。

ありがとうございました。

5) 主賓挨拶：美瑛町町長

(緊急に外国へ行くため割愛)

-----  
(総会議事)

司会 総会議事へプログラムを進めていくに当たって、まず、議長を選出致したいと思います。

立候補がければ指名に致したいと思います。

議長選出：賛成多数で議長を徳永さんを議長に選ぶ

徳永議長：よろしくお願いいたします。各都道府県の報告を 2～3 分以内でよろしくお願いいたします。資料のある県のみでよろしくお願いいたします。

1) 日本山岳協会事業報告：松隈

資料 1～8 の内容を簡単に説明いたします。1 は委員総会の過去の開催地です。p.2 は事業報告。毎月 1 回委員会を開催しています。山岳団体連絡会を 2 か月に 1 回行っています。6 団体で構成されています。野生鳥獣レポートなど行っています。環境省の総合的山岳環境保全対策推進事業に係る検討部会などを行っています。他ご覧ください。

p.9 は山はみんなの宝です。P.10 は環境大臣に尾瀬国立公園の意見書を提出しました。p.12 はコココーラのプロジェクトです。北海道もご協力よろしくお願いいたします。

p.13 は自然保護指導員。0 名のところをなくしたいと思います。

2) 各岳連・協会の活動報告

イ) 青森県：服部

p.15 をご覧ください。登山道の裸地化。八甲田山城、登山道の整備のお願いをしています。遭難者もいるので、保護と遭難の観点から進めています。勤労者、HAT、JAC とかと協力しています。

ロ) 岩手県：竹田

岩手山の八合目の避難小屋の活動をしています。登山者の安全指導をしています。盗採は減っている

が、植生が減っています。西洋タンポポ（外来種）を合同で駆除作業をしています。ずいぶん減りました。平成22年は6回で6337本、平成23年は3970本、平成24年は4回を予定しています。

ハ) 茨城県：山本

盗採・不法投棄の防止、山野草解説などの活動をしています。知名度を上げたいと思います。

ニ) 山形県：高取

朝日連峰の保全連絡会、飯豊連峰の保全連絡会の2つがあります。2つが共同でやるのは初めてです。公共ではなく、土嚢、麻袋を使って自然にやさしい材料を使っています。飯豊では7年目。5年で4回の活動をしています。今月は20日と30日を計画しています。

ホ) 福島県：高田

昨年、3.11より放射能汚染。中通り那須山系、安達太良山系、山岳連盟のHPに放射線量を載せています。

ヘ) 栃木県：手塚

4事業を行い、冊子「栃木県100名山」を再版しました。登山家を増やそうと計画しています。

ト) 群馬県：狩野

資料のような活動を行っています。

チ) 埼玉県：岩崎

コココーラプロジェクトの活動、植林活動、検討部会の活動を行っています。

リ) 千葉県：濱田

ハイク、勉強会を行っています。

ヌ) 東京都：小高

指導員研修会を涌井さんを招いて行っています。

ル) 神奈川県：松隈

県からの助成3件を得ていることもあって、昨年度から一般を交えた公開行事の形式に転向している。主な行事は、「環境登山」「山の自然セミナー」である。このほか社会貢献の位置付けで県有水源林8ヘクタールをフィールドに森林再生活動も行っている。隣県山岳連盟との交流ということで埼玉県山岳連盟と自然保護交流会を開催した。

オ) 山梨県：磯野

10年前に委員会できた。レジュメ1、2、3、4ほかの活動をしています。1は調査をしています。4は100カ所の実態調査、提案書を書いている。北岳のある小屋の整備。南アルプスの登山ブームについて。

ワ) 長野県：小林

フィールドワーク、山の座学セミナー、ネパールの植林ボランティア、自然保護レンジャーなど15エリアで活動しています。指導員が0なので、今年は登録します。



カ) 大阪府：松下

自然観察会、オオムラサキなど（2月に1回）しました。竹林の伐採、山の水質調査をコンゴウ山で行いました。

ヨ) 鳥取県：田中

大山の一木一石運動について、9月16日 AM8:00 から NHK でテレビ放映されます。

タ) 広島県：福永

宮島世界遺産について。ヒバヤマスカイラインについて。

レ) 高知県：麻田

がんばります。

### 3) 次期開催地について

イ) (議長) 参加各県などで、次期開催の希望がございますか。

ロ) (会場) 意見を求める)

ハ) (議長) 挨拶で自然保護委員長が述べたように、次年度は中央常任の主管で東京開催といたしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。(会場) 意見を求める。)

ニ) (会場) 異議なし。

ホ) (議長) ありがとうございます。東京開催といたします。

### 4) 大会スローガン

イ) 議長：大会スローガンについて説明をお願いします。

ロ) (道岳連佐藤自然保護委員長説明) 「山はみんなの宝だ」を大会スローガンに提案します。

提案理由につきましては本大会の葉に記載しておりますのでお読みください。

ハ) (議長) みなさまいかがでしょうか。

ニ) (会場) 異議なし

ホ) (議長) ありがとうございます。「山はみんなの宝だ」といたします。

### 6) 議長退任

イ) 予定の議事を全て完了しました。ご協力ありがとうございました。これで議長を降壇します。